

認知症への
理解を
深めます



認知症サポーター養成講座

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気で、脳の細胞の働きが低下することにより、日常生活に様々な支障が出てきます。認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」の養成を進めています。

住み慣れた地域で
いつまでも自分らしい
暮らしを続けるために

医療や介護が必要な状況となっても必要なサービスを受けながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制として、地域包括ケアシステムの構築を進めています。



心も体も健康に
笑顔あふれる
ふれあい・いきいき
サロン

ふれあい・いきいきサロンは、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、自治会や住民ボランティアなどの地域の方々が協力しながら実施しています。
おしゃべりをしたり、レクリエーションをしたり、同じ地域で暮らす住民同士のふれあいを通して、仲間づくりや生きがいづくりの輪を広げる楽しい交流の場です。

地域で支えあう福祉のまち

九州一、人に優しい
まちづくりを目指して

こうげ生き活き塾

健康長寿を実現するための大切な3つのポイントは「栄養・運動・社会参加」です。こうげ生き活き塾は、住民の皆さんがご自身のフレイルの兆候にいち早く気づくことができるよう「フレイルチェック」を導入し、フレイルや認知症の予防対策として、オレンジカフェ「いちみろおか!」や「ノルディックウォーク教室」などを開催しています。



地域力を育む生涯学習の推進

生涯学習講座

生涯学習講座は、「誰もが・いつでも・どこでも楽しく学べる」という生涯学習の基本方針に基づき、皆さんにいきいきとした生活を送っていただくために、年間を通して様々な講座を企画しています。



健康ヨガ教室や
パソコン講座など
プログラムも豊富

げんきの杜(生涯学習・保健福祉複合センター)

「げんきの杜」は、健康な生活と生涯学習をサポート。施設内には研修室や多目的ホール、調理室などがあり、事前予約すればだれでも利用できます(有料)。



館内には「上毛町立図書館」も併設されており、子ども用の机や乳幼児連れの方のための座敷スペースもあります。また、インターネットで借りたい図書を事前に調べたり予約もできます。

ボランティア講座や体験を通して福祉を学ぶ



▲講座では、実際に競技を行いながらボッチャの審判ボランティアを体験しました。



「ふくし」とは？
体験を通して
学んでいます！

福祉教育では、児童・生徒を対象に、車いす体験・高齢者疑似体験・点字講座・当事者との交流などさまざまな体験を行っています。高齢者や障がいのある人たちに限らず、誰もがかけがえのない存在として、差別や排除なく安心して暮らしていくためにはどうしたらよいかを考え、それを実践していく「ともに生きる力」を育むといった、地域社会の一人としての土台作りに取り組んでいます。

福祉をもっと
身近に



手話は大切なことばです。一人でも多くの方が手話に関心を持ち、聴覚障がいについての理解を深めることを目的に、手話講座を開催しています。



福祉のつながりをつくる場

誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、地域の課題や必要なことなどを話し合い共有することを目的に、町内41行政区ごとに、民生委員、自治会長、福祉委員による地区別福祉会議を開催しています。